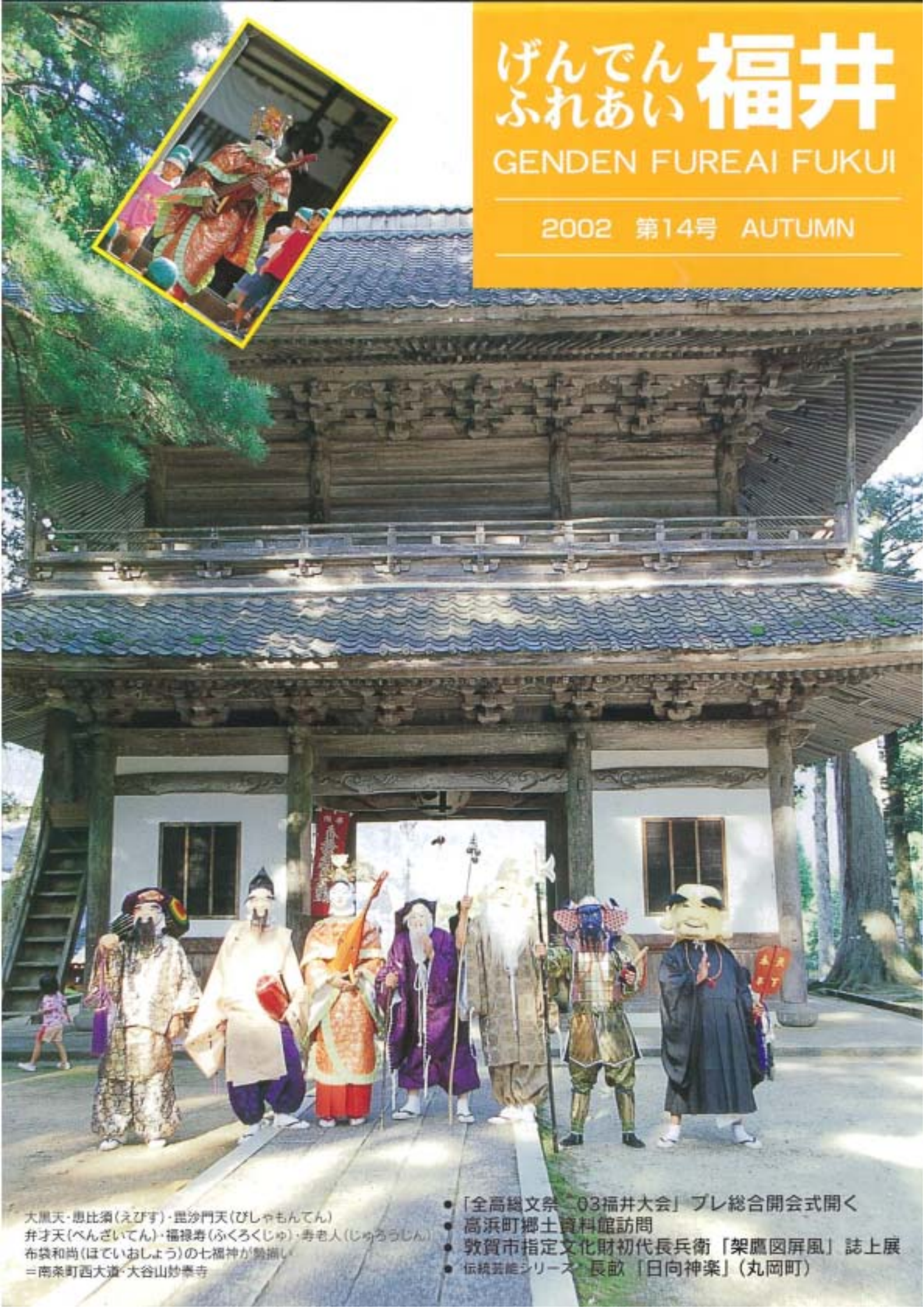


# げんでん 福井 ふれあい

GENDEN FUREAI FUKUI

2002 第14号 AUTUMN



大黒天・恵比須(えびす)・毘沙門天(びしゃもんてん)  
弁才天(べんざいてん)・福祿寿(ふくろくじゅ)・寿老人(じゅうろうじん)  
布袋和尚(はていおしょう)の七福神が勢揃い  
=南条町西大道・大谷山妙壽寺

- 「全高総文祭 03福井大会」プレ総合開会式開く
- 高浜町郷土資料館訪問
- 敦賀市指定文化財初代長兵衛「架鷹図屏風」誌上展
- 伝統芸能シリーズ 長畝「日向神楽」(丸岡町)



# 総合開会式開く

合同合連団・オーケストラの演奏のもと  
各部門の代表生徒が勢揃いした開会式典



## 「はばたけ未来へ」総合舞台を発表

11/9

サンドーム  
福井

来年に迫った第27回全国高等学校総合文化祭福井大会のプレ総合開会式が、11月9日、サンドーム福井のイベントホールで盛大に開かれました。

当日は、出演・運営を含めて総勢2千名以上の県内高校生が参加。プレイベントは3部構成で進められ、式典や交流会に続いて総合舞台では盛り沢山の内容の実演発表を行い、全国大会への成功に向け、本番さながらのデモンストレーションで盛り上がりました。

第一部の式典は、敦賀高校吹奏楽部による「ONZファンタジー」のマーチング演奏に始まり、武生東高校吹奏楽部のファンファーレで開幕を告げ、生徒実行副委員長の中野恵理さん（武生高）が力強く開会宣言を行いました。続いて、県内高校生が作詞、作曲した福井大会のイメージソング「未来」を三国高校・岡田健志君のソロと約



敦賀高校吹奏楽部のマーチングでオープニング

200名名の合同合連団によるコーラスが会場を包み込みました。舞台には演劇、音楽、美術・工芸など21部門の代表生徒がフラカイドを掲げて入場。式典は、栗田県知事らの激励の言葉に続き、高校生を代表して生徒実行委員長の井美達也君（武生高）が「福井大会はもう目の前です。福井の高校生一人ひとりの手で盛り上げていこう。」と呼びかけ、会場から大きな拍手が送られました。

第二部の交流会では、「ふれあう文化」をテーマに構成。本県の郷土芸能を主体に初披露を行い、伝統文化をアピールしました。民謡「三国節」と踊りを三国高校女子生徒が演出。また、県の無形民俗文化財に指定されている「神子踊り」を大野高校生徒（15人）がすげ笠姿で扇をふりかざす正調の踊りを発表しました。続いて、盲、ろう、養護学校65名の生徒が合同太鼓、棒ふり、手話コーラスを披露し、会場から大きな喝采を浴びていました。



交流会で伝統芸能「神子踊り」を披露した大野高校チーム

### CONTENTS/14

- ・全国高校総合文化祭福井大会 プレ総合開会式開く P2・3
- ・フクイデザインマインドコンペティション2002 P4  
輝く金賞チーム発表のあらし
- ・能・狂言を楽しむ会 P5  
能役者味方玄さんに「能の世界」を聞く
- ・高浜町郷土資料館訪問 P6・7
- ・敦賀市立博物館所蔵絵画誌上展9 P8・9  
架國図屏風 市指定文化財に
- ・福井の文学碑 作家 高見 順(三国町) P10
- ・高校文化活動をたずねて④ P11  
藤島高校囲碁部
- ・伝統芸能シリーズ 長鼓・日向神楽(九岡町) P12
- ・みけづくに君狭(その2) P13  
御食国と鯖街道
- ・情報ファイル P14・15

#### 表紙の説明

#### 明神会(七福神祭)

南条町・大谷山妙泰寺

明神会(七福神祭)は、毎年9月18、19日の両日、南条町西大道の古刹、日蓮宗大谷山妙泰寺で行われます。

七難を払い、招福を祈るこの祭りは、天明8年(1788)の大飢饉のとき、村の凶作疫病による惨事を救おうとして行われたのが始まりといわれています。18日夕方、七遣大明神が境内右手の山上にある七面堂から下山、本堂で法要が営まれます。

今年は、84年ぶりに七福神の衣装が新調され、鮮やかな新品衣装を着けた七福神が登場。19日午後、境内で子供たちとはしゃぎ合い、また、本堂では、笛や太鼓の音にあわせて奉納踊りが行われます。その後、神輿を七面堂におさめ祭りは終わります。





プレ

## 第27回全国高等学校 総合文化祭福井大会

本県らしさを全面に  
デモンストレーション

第3部のデモンストレーション発表では、藤島・高志・武生・丹生高校で構成された合同オーケストラが、ワグナー作曲「タイホイザー行進曲」を演奏し開幕。舞台では、仁愛女子高校ダンス部（84名）が喜多郎作曲「新羅幻想綴り唄」にふさわしい創作ダンスを舞台一杯に繰り広げました。

日本音楽では、藤島・羽水・仁愛女子高の合同チームが華曲演奏を行い、吟詠劇討舞では丸岡高校他合同チームが、橘頭寛作の「独楽吟」を吟詠、調べに乗って扇舞を披露しました。また、勝山高校日本文化部（20名）は、和太鼓で「左義長」を鮮や



躍動感あふれる踊りで大会を盛り上げた「総踊り」

かなバチ振りで会場に響かせ、合同部門では18校による県合同合唱団が「九頭竜川」を合唱するなど福井の特色や本県らしさを全面に打ち出した演出で会場を湧かせました。演目の趣向には武生高演劇部員による「はばたけ未来へ」をテーマにした演劇を折り込み、ステージの流れを盛り上げていました。終盤、約240名の合同ダンスチームによる「Ticho-sai 2002」の総踊りを繰り広げ、最後に、参加者全員で「未来」を大合唱し、総合開会式のグランドフィナーレを飾りました。



全国高校将棋選手権大会 女子個人

## 中垣望さん（仁愛女子2年）2連覇

第36回全国高校将棋選手権大会が8月8日、9日の両日、神奈川県で開かれ、女子個人部で仁愛女子高校2年の中垣望さんが見事2連覇を飾りました。

昨年、1年生ながら初優勝した中垣さんは、今大会、厳しいマークを受けましたが決勝戦ではプロ棋士を目指す強豪と対戦、安定した

戦いぶりです。2年連続の頂点に立ちました。9月中旬、仁愛女子高校を訪れ、中垣さんに優勝の喜びなどを聞きました。

同校には将棋部はなく、中垣さんは独自の練習で棋力を高めています。4才頃から姉の影響で将棋を覚え、県内の女性大会で決勝は姉妹対決となったことがしばしばあったという。彼女に将棋を向うと「腕を磨く最高の相手は実戦」あとは週3日ほど本を見ながら詰め将棋をするだけ、と語り、来年の本県での全国大会に「ぜひ地元で3連覇を」と期待をかけたところ「今言えることは一局一局を大切にしたい」とこり語っていました。



優路の喜びを語る中垣望さん

## 「福井の良さ」を伝え 歴史と心の残る大会へ



生徒実行委員長 武生高校2年中野周理さん

今年の夏、神奈川大会の総合開会式を視察し、また、11月にプレ総合開会式を開催し、そのPR活動も行っている中で、いろいろな思いがこみ上

来年は、福井で「全国高校総合文化祭」という、あまりにも大きな事を目の前にしながら、今まではなかなか実感はわきませんでした。しかし、

「豊かな自然と歴史、おいしい食べ物、温かい人情に包まれた福井県は良いところだなあ」と思ってもらえるように、生徒実行委員会一同、力の限り頑張ります。そして、第27回全国高校総合文化祭福井大会が福井の歴史に刻まれ、また、全国の高校生や県民のみならずの心に残るような文化創造の素晴らしい大会にしたいと思えます。

## 福井の高校生の熱と力 県内外に伝えたい



生徒実行委員長 武生高校2年井美達也君

だ。感動し感動を与えよう。」そんな思いを抱きながら、来年福井にやって来る大勢の人の心を虜にしてみようという準備を進めています。

8月には、僕は実行委員長として神奈川県で開催された本年度の総合開会式に参加して来ました。神奈川県の高校生の生き生きとした姿を見たり、全国から集まって来た高校生の熱気を肌で感じたりして、福井大会を盛り上げようという意欲がますます高まりました。11月9日のプレ総合開会式では、これまでの成果をだし、県内外にその熱意を伝えることができました。そして更に一層奮起出来る大会にしたいと思っています。皆さんも是非、僕たち高校生の力を、ご覧下さい。

生徒実行  
委員から  
全高総文祭  
03福井大会

への抱負を聞く



# フクイデザインマインドコンペティション2002 公開審査会

課題の解決策競う

## 輝く金賞チーム

高校の部	武工新聞部SMASH チーム (武生工業高校)
一般の部	m <sup>3</sup> (エム・キュービック) チーム (代表村山和幸さんら3名)

ふだんの生活の中から課題を見つけ、創造的な視点で解決法を提案する「フクイデザインコンペティション2002」が、9月29日、福井市の県国際交流会館で公開審査会が行われました。この大会は、県と県デザインセンターの主催(武財団協賛)で、高校の部と一般の部の2部門で1次予選を通過した各8チームが参加。各チームは、寸劇や対話を取り入れたり、自作のコンピュータグラフィックスやパネル、模型などを使い、7分の制限時間で、それぞれ趣向をこらしてデザインに至るまでの過程を発表しました。審査は武蔵野美術大学教授澤田忠彦氏ら4人が当り、課題の着眼点や探求力、解決、改善提案のまとめ方などを採点。審査の結果、次のおり受賞チームが決まりました。

【高校の部】▼金賞 武工新聞部 SMASH (武生工業) ▼銀賞 すもも (香江工業) ▼銅賞 (有)みやがわ (香江工業)  
▼審査員特別賞 オーパーツ (香江工業)  
【一般の部】▼金賞 m<sup>3</sup> (エム・キュービック) ▼銀賞 P1F I-T ▼銅賞 駅前ガールズ

## 金賞チーム 発表のあらまし

### 高校の部

#### 武工新聞部SMASHチーム

【問題点と提案理由】今春より「学校5日制」が発足、このゆとりある時間を有効に利用されていないのが現状です。一方、中教審は学校教育



テーマを発表する武工SMASHチーム

### 学校5日制が日本を元気にする

にボランティア活動を義務付けることを苦申しているが、私達の生きる力は自分から求め、生み出してこそ育つもの。そこで、私達は、5日制を有効利用する「ボラバイト」活動を提案します。

【解決の方向】私達は▼ボランティアは長続きしない ▼アルバイトは面倒くさい ▼そのため私達に適したボラバイトとして自分を見出すためにも保育園に向いて華やかな活動を行うことにしました。また、地域の小学生と一緒に「ものづくり体験教室」を開設することなども親子の絆を深める面で感動的な計画となります。

ボラバイトの運営は、あくまでも高校生が主体。資金は希望者の登録料やサービス

### 一般の部

#### m<sup>3</sup>(エム・キュービック)チーム

【問題点と提案理由】私達の普段の生活の中で▼歩行中や車運転中の携帯電話の使用をよく見かけます。情報機器を無分別に扱われ、極めて不

### 「モノの見せ方」をデザイン

愉快で危険です。▼街に看板が多いことや景勝地での過大なサイン、夜のネオンなど風景を損う問題点が多く散在しています。情報機器も視覚の問題すなわち「モノの見え方」の問題です。普段の「モノの見え方」を変え、「モノの見せ方をデザインする」ことで改善に向けてアプローチしたいと考えました。

【解決の方向】これを実現するために、情報端末としての機能をもつVRE(視覚構成眼鏡)を考案。この装置でユーザーは視覚を見たい映像に加工し、そのまま見ることでできます。装置には先進的な光学機器、情報処理装置や人口知能が内蔵されています。これにより街の景観や自然との関わり



発表に使われたパネル



発表に使われたパネル

についても変えることができます。「モノの見え方：ビジョンの新しいカタチ」を示すことで、子供達に自然や本当の世界の興味や面白さを発見させることができ、今こそ「モノの見せ方のデザイン」がもたらわれています。このことが未来を更に幸せにし、科学発展の道標となれば幸いです。

を受け取る側の登録料や寄付金で賄い、団体として利益追求はしません。このような活動の効果は▼自己発見ができる ▼人間関係が深まり ▼若者に生きる力をあたえます。

波及効果も▼少子化対策、犯罪の減少につながり ▼地域の活力を生み ▼ものづくりで購買力アップ、ヒット商品化などを生み、日本全体で元気一杯、生きていこうとする力が生れます。



# 能・狂言を楽しむ会 10/2

**昼** 敦賀の中学生体験学習

**夜** 能役者の妙技に喝さい

財団では、日本古来の伝統芸能に触れてもらおうと観世流能役者味方玄さんをはじめ京都在住の能楽師らを招き、「能・狂言を楽しむ会」(日本原電協賛)を10月2日 昼と夜の部に分け、敦賀市プラザ万象能楽堂で開きました。



能「船弁慶」の後段・義経と平知盛の亡霊の格闘場面

## 能は和風ミュージカル 軽い気持ちで楽しもう

◇能役者になられたきっかけは、  
父がこの世界の人でしたから小さい時から能衣装や能面などにふれ、家の環境がすべて、この世界でした。初舞台は4歳でしたが、嫌で逃げていました。その後、回を重ねるうちに興味がわき段々と好きになりました。◇白頃の稽古はどのようにされていますか。  
今、私は、弟子や学生に教える機会が多いので、その時に一緒に動くの

観世流  
能役者

## 味方玄さんに「能の世界」を聞く



観世流能役者  
味方玄氏

と、もちろん、舞台前には稽古をやりま。テクニクは、若い頃から通ってきた密度の積み重ねで充実していくことだと思っております。◇能に対する偉業などをお聞かせください。  
能は六百年を経た古典芸能です。その時代、その時代に対応して新しいものが積み重なって今日の姿があります。舞台上立

ば観る人の感性にうったえる舞台からの力をアピールするよう、常に心掛けています。◇素人が能を楽しむためには、どんな心掛けが必要でしょうか。  
能は室町時代にできた和風のミュージカルです。囃子方はオーケストラ、地謡はコーラス、キャストである装束の着付けなど全部を通してミュージカルですから、軽い気持ちで、能動的にうけとめ観て欲しいと思います。◇新しい時代への能楽のあり方についてお聞かせください。  
能は難しいという先入観をすてて、能の生をみていただくことが一番大切です。常に能は新鮮であり続けることが、能楽に命を与えてきたと思います。



中学生が鑑賞した能「羽衣」天人の舞

当日の昼の部では、敦賀市内の中学生(気比・角鹿・東浦・西浦・気比付風中)430名が体験学習の一環として鑑賞しました。公演前に、味方玄さんから「地謡座」



狂言「蕎麦煉」の一場面

「後座」「橋掛り」などと呼ばれる能舞台の構成や立ち方、囃子方の役割などの説明をうけ、さらに舞台上で装束の着付けや能面の着け方などが披露されました。その後、能「羽衣」が演ぜられ、生徒たちは能楽師

たちの動き、囃子方の演奏や地謡の斉唱にじっくりと見入り、能の一人ひとりの奥深い世界に浸っていました。夜の部では、約500人のファンが会場を埋め、公演にさきがけ、河村晴道さんから能は音楽劇で、夢の世界へ誘うドラマであり、鼓や笛の響き、地謡の斉唱などについて解説が行われました。最初に茂山一門の若手狂言師による狂言「蕎麦煉」がユーモアたっぷりな演ぜられました。続いて、能、仕舞「松風」「山姥」が演ぜられた後、シテ味方玄らによる能「船弁慶」が演じられました。優美で哀切な前場と勇壮でスベクタクル的な後場のシテの妙技をはじめ船頭、弁慶、子方の演技、さらには、場面を盛り上げた囃子、地謡の表現に、観客は奥義の深い能の世界に誘われ、会場から惜しみない拍手が送られました。



# 高浜町郷土資料館訪問

御食国（みけつくに）若狭の中心地的役割を担った故実や中世の高浜の礎を築いたといわれる名君逸見昌経公の歴史のあなど郷土高浜のいにしへのロマンを追って、10月3日 来春開館10周年を迎える高浜町郷土資料館を訪ねました。

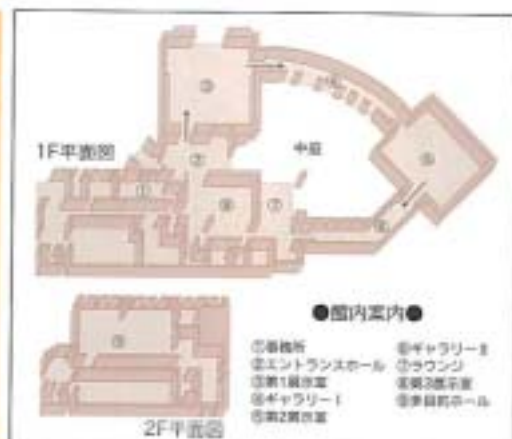
高浜町郷土資料館（館長・江上恒夫氏）は、郷土高浜の歴史や文化遺産を展示・保存し、文化財関係の学習や研究の拠点として活用されることにより郷土への理解を深めてもらおうと、平成5年4月開館しました。



高浜町郷土資料館外観＝高浜町南団地1丁目14-1

玄関からエントランスホールの左手の順路に従い、まず第一展示室に入ります。同展示室は、「高浜町の宗教美術」「七年祭り」「高浜町の獅子頭」などのテーマで構成され、郷土が育んだ文化を示す美術工芸資料、民俗文化財資料を中心に展示されています。特に「七年祭り」のコーナーでは、伝統のある豪華な見送幕をつけた曳山を実物展示しており、ダイナミックで優雅な祭りをマルチ映像とともに紹介してい

## 第1展示室 「七年祭り」の曳山 豪華な実物を展示



「七年祭り」の曳山の実物展示コーナーが設けられている第1展示室

ます。宗教美術では、町指定文化財、木造地藏菩薩坐像頭部（畑区）が展示され、注目されています。

## ギャラリー 町出身の高僧の書画遺幅を展示

31）同町生れ）の通幅絵画5点が掛けられています。維明和尚は、徳清宗・相国寺第115世住持になられた高僧で若い頃から絵も修行され、特に梅を描いた絵画は有名で多くの名作遺幅が残されています。同回廊では、知られざる高浜を紹介するため、町の歴史、文化にスポットをあて随時、模様替えを行い、企画展示を実施しているとのことでした。



「ギャラリー1」では高浜町出身の高僧遺幅の書画を展示

いました。一人は、明治25年（1892）鎌倉の円覚寺派第207世住持となられた釋宗満禪師（高浜町若宮出身）の書画3点。もう一人は、時間維明和尚（享保16年（1731）

## 交通アクセス



## 利用案内

- 開館時間■  
午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日■  
・毎週月曜日  
(ただし月曜日が国民の休日  
の場合は水曜日)
- ・祝日・振替休日の翌日
- ・年末・年始  
(12月28日～1月4日)





横穴式石室と副葬品の状況などを示す  
二子山3号墳原寸大石室半截模型

第2展示室では、高浜町内の縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良時代まで、時代を追って実物資料やパネルなどが展示され、また、遺跡から出土した土器類などの副葬品が展示されています。  
順路右側のコーナーには、町の史跡に指

第2  
展示室  
縄文から奈良まで  
多彩な資料を展示



第2展示室



「ギャラリーII」映像で見る高浜町コーナー

ない「鹿首飾付甕」(酒類などを入れる容器)が展示されています。  
奈良時代のコーナーでは、青銅や木津郷(現高浜町のほぼ中心部)から奈良・平城京に納められた御贄(みにえ)天璽のお食料)の木皿(複製)などや古代の塩作り工程を想定したシオラマなど、多彩な展示で「御食国若狭」において税金の中心地的役割を担った高浜の歴史を探ることが出来ます。



鹿首飾付「甕」

定されている二子山3号墳の原寸大石室半截模型が設置され、埋葬遺体の数や位置が推定できる貴重な前方後円墳としての解説を聞く事ができます。また室内の中央部には、同古墳から出土した全国でも類例の少

第2展示室と第3展示室を結ぶ回廊「ギャラリーIII」では、高浜町の昔話(「観音岩」「小浦八兵衛の恩返し」「魚行商人とオオカミ」など)をはじめ町内の年始、四季を通じた年中行事や郷土の祭りを映像と解説で知ることが出来ます。



第3展示室

第3  
展示室  
逸見昌経を中心に  
中世高浜を紹介

第3展示室では、高浜町の中世をテーマとして、高浜城主逸見昌経とその家臣沢村大学を2本柱としてその関連資料を実物とパネルで展示しています。  
特に、逸見家の系図や伊予札組系素懸威二枚開具足、沢村大学肖像画、また、高浜代官(津川内記)が隣々村の幸菊らに公事(年貢等)を免除した古文書資料など貴重な資料が展示されています。

戦乱の高浜城主  
逸見駿河守昌経

逸見氏は清和源氏の流れをくむ甲斐(今の山梨県)の名族として興りました。  
若狭への入部の時期は定かではありませんが、若狭守藤田氏の被官人として入部し、若狭の西城高浜を中心とした地域を治めました。

特に天文年間(1531-158)から名の見える逸見昌経は、松山山城、高浜城(現・城山公園付近)を拠点とし、武田氏配下でありながら少なくとも3度の叛乱を起こしています。また、いち早く織田信長と手を組み、朝倉攻めや越前一向一揆攻めなどに参陣しています。天正9年(1581)2月



玄関先に設立された逸見駿河守昌経公像

28日、織田軍団の武威を天下に示す一大デモンストレーション「京都馬場入」では、一番に若州衆として馬場入りしています。この時が昌経生涯の絶頂であったと思われる。その後、その僅か1ヶ月後、天正9年(1581)「病死」として歴史に名を沈め、自らの菩提寺として創建した園松寺に葬られました。

昌経は戦乱を生きた郷土の武将ですが、その反面、領民に暮られ、地子銭免除などの善政を行い、高浜町発展の礎を築いた名君とも評価されています。



# 9

敦賀市立博物館では郷土にゆかりのある作家や師弟関係などでつながる近世・近代絵画を系統的に収集しています。



## 架鷹図六曲屏風

一双

初代・橋本長兵衛筆

江戸初期

屏風の  
概要

紙本着色 各縦127.8〜128.7センチ 横50.0〜53.3センチ  
「鷹」各紙に海山、去即、半閑、鉄山、花園、雪軒、進人らの蕭賞があります。

印章「橋本」 白文方印



# 「架鷹図六曲屏風」

## 初代 長兵衛作と判明 敦賀市文化財に指定

敦賀市立博物館が1995年に購入した架鷹図屏風（つなぎたかすびょうぶ）が、これまでの調査で、江戸初期に活躍した敦賀の儒絵師、初代橋本長兵衛の絵と判明。同市教委では、本年7月、市文化財に指定しました。この屏風は初代の代表作として貴重な資料で、今回、誌上展として取り上げました。

に描かれています。わが国における鷹狩りの歴史は、古く上代中古にさかのぼり、高麗から伝えられ、以来、公武の間で盛んに行われました。とくに、室町時代、武技鍛錬を兼ねて、戦国武将の間で流行し、愛鷹の雄姿を描かせ、それを座右に置いて觀賞する風習が定着していました。

### 敦賀鷹絵の原点ここに

架鷹図屏風には、各屏一紙の押し絵貼り形式により、架（ほこり止まり木）の上で羽根を休める鷹の姿態12枚が描かれています。これらの鷹は鷹狩りに用いられた大鷹、隼などで、鷹狩りの流儀による「架ぎ鷹」の色や結び方まで、故実に則って色鮮やか

この時代の鷹絵に長じた絵師として土岐重景、曾我直庵らが知られていますが、本図の筆者初代橋本長兵衛は、その趣風から、曾我直庵に師事した可能性は大きいと思われます。初代長兵衛は「敦賀鷹」と評価されている橋本家の鷹絵の基礎を築いた人物です。海北友松の人物画にも長じ、その画

風の相似性、また友松と長兵衛の双方の作品に牝牛の首飾があることから、牝牛を紹介して友松と師弟関係ないしは画風の継承があったものと推測されます。さらに、京都妙心寺第百五世・海山が各絵に賛（漢文）をしているのですが、その海山が寛永9年（1632）に没していること、また2代橋本長兵衛が寛永13年に日

光東照宮に作品を奉納したことから、その対比において初・2代が区別でき、初代長兵衛の下限を示す資料となりました。因みに2代橋本長兵衛は、時の老中で小浜藩主・酒井忠勝の命により寛永13年（1636）日光東照宮の運宮に際し、扁額12枚と6曲屏風一雙に「架鷹図」を描き、奉納しています。当時、江戸、京都には狩野派をはじめ錚々たる画家たちが活躍しているのに、あえて2代橋本長兵衛に鷹絵を仰せ付けていることは、当時「敦賀鷹絵師・橋本長兵衛」の名声がいかに高かったかを物語っています。

解説は、敦賀市立博物館・調査研究員 田邊昌平氏の資料を参考にさせていただきました。

## 敦賀市立博物館所蔵 逸品絵画誌上展





(三国町)

# 高見順

作家

おれは荒磯の生れなのだ  
 /おれが生れた冬の朝/  
 黒い日本海ははげしく荒  
 れてみたのだ/怒濤に雪  
 が横なぐりに吹きつけて  
 みたのだ/おれが死ぬ  
 ととききつと/どどんど  
 どんとどろく波音が/  
 おれの誕生のときと同じ  
 やうに/おれの枕もとを  
 訪れてくれるのだ

シリーズ5

## 福井の文学碑



### 「死の淵より」自筆の文字を刻む

には詩集「死の淵より」の中の「荒磯」の詩の後半部(標記のとおり)が本人自筆のペン書き原稿を拡大して刻まれています。  
 高見順が最後の病床で、死を直視しながら、生まれ故郷の三国を切々と懐かしんでいることが偲ばれます。  
 碑の表面には、友人川端康成が解説文を執筆しています。

高見順は、明治40年(1907)、三国町平木で、母高見古代(ゴコ)の私生児として生まれました。父は当時の福井県知事坂本彰之助。生後間もなく、祖母、母とともに東京

に移り住み、府立二中、二高を経て昭和5年(1930)東京大学英文科を卒業しました。卒業後はプロレタリア文学に近づき検挙されます。昭和10年、独自の鶴舌体を駆使した転向小説「故国忘れ得べき」が第1回芥川賞候補作に選ばれ、文壇の注目を集めます。そ

### 常楽寺文学碑

三国町加戸

三国町加戸の常楽寺に、みくに文学の里に因んだ三詩人が色紙に書かれた名作の文学碑が建てられています。

この碑は、同寺の境内、本堂脇に、恵那産の自然石(高さ1.5m、幅1.8m)を用い、左側に高見順直筆の句「静かな黄昏 光はすべてを許してゐる」が刻まれ、右側には三好達治の短歌「春のみさき 旅のはりのかもめとり うきつとほくらにけるかも」。中央には、同寺第28代住職で歌人伊藤二美雄師の短歌「内陣の燈の灯」がそれぞれ石材に刻まれています。

現住職伊藤泰臣師が、父親の二美雄師と2人の文学者との親交を顕彰するため、同寺の増信徒(故)坂本豊氏の協力で、平成2年12月に建立されたものです。



高見順文学碑=三国町・荒磯遊歩道



「みくに文学の里」に因み建立された三詩人の詩碑



生家跡=現三国町北本町3丁目



心の泉より湧き出る文化大河となり海を成せ'03福井

## 高校文化活動をたずねて④

藤島高校  
囲碁部

来年に迫った第27回全国高校総合文化祭福井県大会の成功を目指し、県内高校生の文化活動に取り組み姿を紹介する「シリーズ4」として、県立藤島高等学校（田中完一校長）囲碁部を訪ねました。

学校文化祭も終って一段落という9月17日、放課後の5時、県立藤島高校囲碁部の活動取材するため同校を訪ねました。

校長室で田中校長と同部顧問の加藤大樹先生から同部の活動振りを伺いました。

現在部員は1年生4名（うち女生徒1名）3年生4名の計8名、少人数ですが、まとまりのよい活動で、めきめきと実力をつけてい



県高校秋季囲碁大会対局風景＝福井県院会館



練習に励む囲碁部員＝同校物理室

るようです。同部は古い歴史をもっており、顧問の加藤先生も同校の出身で、在籍中は囲碁部で活動した経験を懐かしく語っていました。

同部の一昨年から対戦成績では、第25回全国高校囲碁選手権県大会で、団体優勝。本年度の同大会でも連覇を飾っています。

また、7月、東京で行われた全国高校囲碁選手権大会では、団体戦で3回戦に進出、ベスト16位的好成绩をあげています。8月に行われた全総文祭囲碁部門（神奈川県）では、同部の小林悠二君が県チームの団体戦主将として出場、県順位で第19位に入っています。

今後の方針をお伺いすると、2年生の部員がいないため来年度の全国大会には、現在の1年生が中心になります。当面の目標は11月に行われる近畿総合文化祭（彦根市）に向



囲碁部門  
マスコット・キャラクター

け、毎日放課後1時間を部活にあて、部員同士で対局、実戦を通じたレベルアップに努めています。

学校での活動場所となる物理室には、教室の中央部の机に折畳み用の碁盤を置き、4組がそれぞれ対局中でした。教室の雰囲気は一見、楽しみながら碁盤に集中している感じで、石を打つ音が教室に響いていました。

顧問の加藤先生に「囲碁の魅力」について、1年生の嶋洋佑君には来年に向けての抱負などを尋ねて見ました。

### 囲碁は最良の仲間づくり



囲碁部顧問  
加藤大樹先生

高校生の囲碁の魅力は、碁盤を挟んで多くの同好の仲間を得られることだと思っています。

県内外の大会に生徒を引率した時、すぐいろいろな人と仲良くなれる高校生を見

ていると、そのことをよく感じられます。引退していく3年生には、卒業後もぜひとも囲碁を続けてもらって世代を越えて人間関係を深めてもらえたらと期待しています。囲碁を始めたばかりの1年生には、今後他校の部員にも多くの友人をつくってもらえたらと思っています。来夏には福井で全国総合文化祭が開催されます。ともに力を合わせ大会を成功させれば、高校生活の中にきつと素晴らしい思い出ができるのではないかと楽しみにしています。

### 先輩に続け！ 全国選手権出場を目指す



囲碁部  
1年 嶋 洋佑君

今年度の本校の囲碁部は、先輩たちが大いに活躍して、全国高校囲碁選手権の団体戦ではベスト16に入ることができました。

先輩たちは、みんな二、三段位の棋力はあり、僕たち1年生では、全く歯が立ちません。その先輩たちが引退していくため、レベルはかなり落ちてしまったと思います。しかし、先輩たちも高校に入って初めて囲碁と出会い、あれだけ強くなったと聞いています。僕たちも必ず強くなれると信じて、毎日努力しています。

11月には、近畿総合文化祭が彦根市で開催され、私たちの参加も決っています。そこでさらに力をつけ、来春の大会で、全国選手権出場の切符を再び手に入れることが現在の目標です。



シリーズ  
ふくいの  
伝統芸能

県指定無形民俗文化財

# 日向神楽(長畝)

丸岡町  
長畝区

坂井郡丸岡町長畝区に所在する八幡神社の秋季祭礼が毎年9月14日・15日の両日行われます。今年も14日の夜と15日の昼から神社の拝殿を舞台に、県の無形民俗文化財に指定されている伝統芸能「長畝「日向神楽」が同区保存会(山田一男会長)の人たちの手で厳粛に奉納されました。

## 日向神楽の沿革

日向神楽は、元禄8年(1695)、日向の国(宮崎県)延岡城主から丸岡藩に国替えになった石馬清純公が、神楽の舞手数人を随伴し、領内の諸社の祭礼で奉納させたのが始まりとされています。



舞台一杯に乱舞する「真の舞」(天照大御神の舞)



笛・太鼓・鉦の楽にあわせて少年2人堂々と舞を演じる「圖位の舞」

## 神話基に華麗・勇壮な舞を披露

明治4年(1871)麻藩となり、この神楽も消滅の運命となりましたが、同15年、神楽の衣裳や小道具一式が長畝の有志に引き継がれ、戦中、戦後の混乱期には中断がありました。関係者の熱心な努力で復興され、昭和28年(1953)福岡県の無形民俗文化財として指定され、現在もそのままの姿で保存されています。

日向神楽は「天の岩戸」の神話に因んで作られたものといわれ、別称「岩戸神楽」ともいわれています。

14日の夜は、岩屋におかくれになった天照大御神を連れ出すために、多くの神々が岩屋の前で大騒ぎをして大御神を連れ出すまでの舞が奉納されます。

同日午後8時、舞台を清める意味をもつ

「散米」の舞で幕開け、「剣(つるぎ)」「菓(むち)」「戸取(ととり)」「真の舞」など9番の舞が次々と披露されました。

特に、8番目の真の舞(天照大御神の舞)は、当日の舞の見どころで、大御神が、白い長絹の袖、鉢の袴に、白い腰帯、金色の天冠をかぶり、女神の白面をつけ、黒髪のかつら

を長く垂した豪華な姿で登場します。

右手には鈴、左手に日月の印をつけた赤い幡と矛を持ち、前段では、戸を全開した岩屋の中に座り、まず天手力男命が戸を開いた喜びを舞い、大御神の手を取って外へ導きます。後段では、天照大御神が舞台の四方に跳び、喜びの状を表して乱舞します。

翌15日(午後2時から)には、前夜、天照大御神が岩屋から出られて、世の中が再び明るくなったので、よいお祭りができるという喜

びとお祝いの舞が奉納されます。笛、太鼓、鉦(手拍子)の楽に合わせて、1番手に「圖位」の舞を今年も、丸岡中2年の古谷裕輝君と丸岡高1年の有町慶隆君が、前段は鈴と扇子、後段は、黒紋付にたすき、鉢



策と扇子を探りものにして舞う「鬼神」の舞

の切り袴で、5色の舞幣を両手に採って、軽快に、時には活発な舞を堂々と披露。続いて「獅子舞」「日の舞」「綱切」「鬼神」と神威を示す舞が勇壮に演出されました。特に、6番手の「大蛇の舞」では、出雲の国で素戔嗚命が八岐大蛇を退治して稲田姫を助けた神話(神代巻)の神歌と唱(祝詞)が唱られ、大蛇を入れた3人立ちの舞が優雅に、時には激しく舞われます。

最後に、「注連連たば、こも高天の原なりや、集り給へ、よろず世の神」と神歌が唱られ、わが国の永久の平安を祈る「注連神楽が披露に終わられ、幕を閉じます。



さるべしみの面をつけ太刀を採って舞う「綱切」の舞



出雲の国で八岐大蛇を退治した「大蛇」の舞



# 御食国と鯖街道

みけつくくに若狭

その2

「御食国」とは「御食の国」のこと

前回、若狭が古来「御食国」（みけつくくに）であったことを述べましたが、この御食国を「みけつくくに」とか「みつけのくに」と誤って読む人がありますので、念のため、この言葉の読みについて申し述べます。

「みけ」の「つ」は「の」のことであり、「御食の国」ということです。和歌にもある「天つ風」が「天の風」の意味であるのと同じ用法です。

## 鯖街道

若狭から京を結ぶ

文化の道

従って「みけつ」とすると「みけのの」となるので、「の」をつけてはならず、まして「みつけのくに」は全くの誤りです。

また「御食」とは、天皇のお食料や神様にお供

えする食物のことです。奈良時代初期の

国の基本法典であった「養老律令」の中

に「(公式令)には、「御」が天皇の意味

で用いられているという

ことであり、御食は意味深い言葉で

す。なお、「万葉集」には、「御食都国」「三

食津国」と、「つ」の文字を入れる用例も

ありますが、現在では同じく「万葉集」に

もある「御食国」の表記が多く用いられています。さて、ここ近年「鯖街道」という言葉がよく聞かれます。その説明には、若狭の海で捕れた鯖に「塩」して（軽く塩をふりかけて）、大急ぎで京都まで運ぶと書いてあるところやうど良い味になっていて喜ばれた。これを運んだ道が鯖街道である、とよく言われています。この話を聞いて、鯖街道とは若狭、特に小浜から京都まで鯖を運んだ一本の道だと思ふ人が少なくありません。

しかし、運ばれたのは鯖だけではなく、若狭の海で捕れた魚介（貝）類であり、それも京都だけでなく、古く奈良や飛鳥時代にまでさかのぼり、その京跡から出土した木簡がこのことを証明しています（前回参照）。今のところ、奈良の都へ若狭から鯖を送った木簡は発見されていませんが、その可能性は充分あると思えます。また、「鯖街道」という言葉は、古い記録には全く見当たらず、これは今から数十年前に言い始められたものと考えています。

若狭から海の幸を送った道、すなわち鯖街道の言葉は新しくても、その歴史的起源は以上のように非常に古い訳です。そのコースも決して一本ではありませんでした。江戸時代の明和4年（1767）に、小浜の町人学者板屋一助が著述した「雑考」に、小浜から京都に行くには、主な道が五つあると書いています。実際に現地を訪問したり



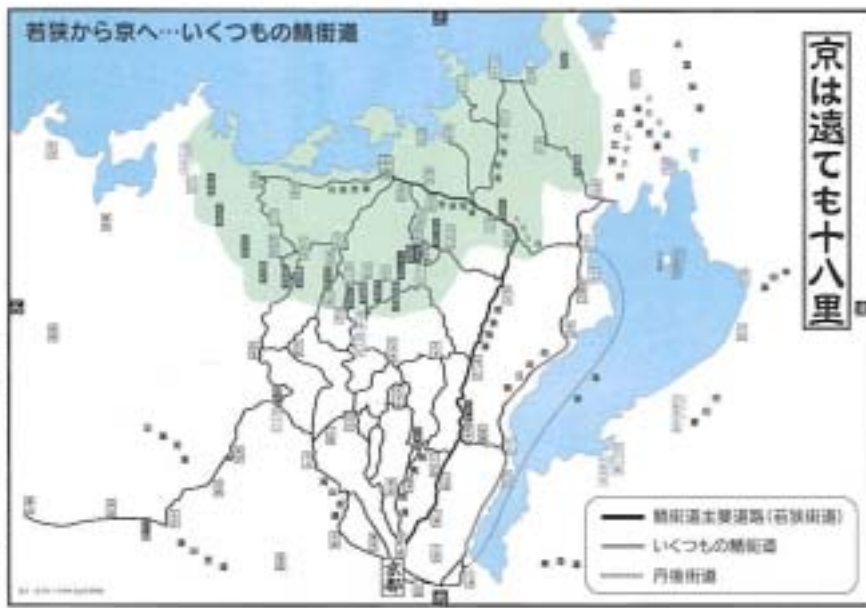
若狭街道 熊川宿の町並み



鯖街道の重要な1起点＝小浜市いづみ町中央路面



「網の瀬」に沿う鯖街道  
左前方 鶴の瀬・右 根来坂越え鯖街道



小浜いづみ町鯖街道資料館提供

、通信などでも調べてみると、多くの道があり、網の目のようになると思ふほどです。  
奈良東大寺への「お水送り」が行われる小浜市の遠敷川上流「鶴の瀬」の例を通り、近江（滋賀県）へ越える道。宿場町として有名な上中町熊川を通り、近江から京都に至る道。陰陽道で名高い土御門家が在住したことで知られる名田庄村から丹波（京都府）へ出る幾つもの峠道。また、この道は丹波の篠山（兵庫県）までも通じる鯖街道でありました。北海道・東北や日本海側各地と交流した船便による物資も、小浜で陸揚げされ、熊川宿を経由して京都などへ多く運ばれました。そして、魚や物資の運ばれたこの「鯖街道」は、いずれも各時代を通じて極めて大切な「文化の道」でもあったのです。  
文・郷土史家 永江秀雄



## 第3回ふくい県民文化祭



三味線合奏を披露する日民協大野支部のみなさん＝大野市文化会館

第3回ふくい県民文化祭が9月8日、大野市文化会館でオープニングフェスティバルを開き、本年度の芸術・文化の秋を華やかに開幕させました。

最初に、朝日町の鎌野太津子さんから3人によるハープとフルート演奏で幕開け、「世界の民謡メドレー」をはじめ名曲の数々が奏でられ、満員の聴衆を魅了しました。

続いて、開会式典が行われた後、地元大野を中心に公募した10団体によるステージ発表が行われました。日民協大野支部の会員20名による三味線合奏にはじまり、「童謡の流れるまち」大野を愛する会など地元文化団体が出演、童謡合奏やゴスペル、邦楽、洋舞など日頃の練習の成果を見事に披露。最後に、大野市出身の音楽家、尾野玲子さんが「オーソールেমリオ」など幅広いレパートリーで、澄んだ歌声を響かせ、途中、小山小学校児童たちの友情出演もあり、県民文化祭のオープニングを飾りました。

### 第3回

## 県民文化祭 オープニングフェスティバル 開幕

大野市

9/8

## 県立音楽堂開館5周年を祝う

9/28  
29

### 日米交流や多彩行事で賑う 福井



5周年記念コンサートでジョイントする日米の少年合唱団

県立音楽堂（ハーモニーホールふくい）の開館5周年記念コンサートなどの記念イベント（財団協賛）が9月28日・29日の両日音楽堂を一般開放して多彩に開かれました。

28日は、日米の少年合唱団

によるジョイントコーラスなどが披露され、国や言葉の違いを超えた音楽の素晴らしさが会場を満たしました。米田からは本県と姉妹関係にあるニュージャーシー州のアメリカーンボーイ、クワイア合唱団とラトガーズ・ジャズアンサンブル、本県からは福井ジュニア・フィルハーモニック、福井ソアールベ児童合唱団などが参加。シューベルトなどの名曲や日本でおなじみの「赤とんぼ」や「ふるさと」など約30曲を披露しました。

翌29日には「音で遊ぼう！等身大の音楽体験」と題して、ハートフルコンサートやハープ、マリンバ、野菜音楽作りのワークショップなど音楽堂をテーマパークに、1日中、多彩な交流イベントで賑わいました。

## 第6回 福祉会 福芸会

## 6施設で楽しい ふれあいの輪

漫才 立山センター・オーバーコンビ 歌手 林田麻友子 を招く



客席でふれあいの輪を広げた歌謡ショー＝福井ケアセンター

財団では、人によさしい、ふれあいの輪を広めようと本年度は「漫才と歌謡ショー」を企画。10月22日から3日間、県内6つの福祉施設（別表のとおり）を巡回し、福祉芸会を開きました。

各会場とも入所者をはじめ観客

りのお年寄り、ボランティアらも集まり、3日間で延約850人が参加して楽しいふれあいの輪を広げました。最初に、立山センター・オーバーの漫才コンビが登場。とんちのあるクイズや「1から10」にかけた県名、野菜・果物・魚の数えうたなどを、時どき脱線した

10/24		10/23		10/22	
14	10	14	10	14	10
清水町	勝山市	武生市	福井市	大飯町	敦賀市
すみれ荘	サンビュートかつやま	シルバークロイツ武生	福井ケアセンター	梅苑	深山荘



①



①笑いで会場を沸かせた立山センター・オーバー漫才コンビ  
②なつかしい歌謡曲を熱唱する林田麻友子さん

珍興答で笑いを誘い、終始コメディカルな言葉のやりとりや歌で会場を沸かせました。歌謡ショーでは、演歌歌手の林田麻友子（日本コロンビア）さんが「箱根八景の半次郎」などなじみの曲を歌い上げ、特にオリジナル曲「男・天野屋利兵衛」をこぶしのさいた笑いで熱唱して、大きな拍手が送

られました。また、童謡「赤とんぼ」や「青い山脈」などを舞台から客席に降りて、一緒に合唱したり、お年寄りの一人ひとりと握手を交わして歌をリード、最後に「花笠音頭」を手拍子を打ちながら歌いあげ、ふれあい演芸会を盛り上げました。



## 県雅楽会100周年記念公演

10/20

雅楽と舞台芸能を披露 福井



福井県雅楽会（会長大津兼祐氏）の創立100周年を記念する雅楽公演が10月20日、県立音楽堂（ハーモニーホールふくい）で開かれました。公

園から伝えられたという「瀧城楽」の舞

演に先立ち、笙、横笛、篳篥、羯鼓などの楽器の説明が行われ、公演は、管弦と舞楽の2部構成で進められました。

1部では、雅楽の音に馴染んでもらおうと国歌君が代を楽器のみの演奏で始まり、「平調百取」のあと、歌曲「伊勢海」などが披露されました。また、結婚式等でよく奏される「根天来」を女性11人の構成に副学長の編鼓が加わり、女人奏楽が演ぜられました。

2部の舞楽では、4人の舞「瀧城楽」をリズムに富んだ軽快な曲に乗って舞い、また、襦袢袂束に面をつけ右手に序を持って舞う「瀧城楽」が演じられるなど、集まった約600人の観客は、千五百年の伝統を持つ雅楽と舞台芸術に魅了されていました。

## 小松亮太とザ・タンギスツ オータムライブ

福井

11/4

日本を代表するバンドネオン奏者小松亮太とザ・タンギスツのオートムライブが県文化振興事業団主催（当財団協賛）で、11月4日夜、県立音楽堂（ハーモニーホールふくい）で開かれ、集まった630人のファンは、次々と披露されたなつかしいタンゴ音楽の名曲演奏を堪能しました。

タンギスツは、「タンゴで生きている人たち」という意味で、今回のライブは、小松さんをリーダーに、バンドネオン、ヴァイオリン、ピアノ、ギター、コントラバスの5人で編成されて登場。コンサートの前半は、A・ビジュアルド作曲「エル・チョコクロ」に始まり、タンゴの中の

タンゴといわれる「ラ・クンバルシータ」など11曲が演奏されました。

後半ではヒアソン作曲の「2丁自通り」など日曲。最後に「五重奏のための協奏曲」をバンドネオンの熱い演奏を中心に、各楽器の調がせとと緊密なアンサンブルで対比しながらタンゴの世界を演出し、会場から大きな拍手が送られました。

タンゴの名曲を演奏する小松亮太とザ・タンギスツ



15

## げんでんふれあいコンサート

11/10

つのだ☆ひろ・NORA・Jacksonら熱演 福井



パワフルなライブでフィナーレ飾るつのだ☆ひろ、NORA、ジャクソンら

財団主催の「げんでんふれあいコンサート2002」（日本原簿協賛）を11月10日、県立音楽堂大ホールで開きました。

公演は、つのだ☆ひろ、NORA・BAND、Paul&Soul、Thee Threeの豪華な顔ぶれで、バンドの爽快な演奏、3人の声量あふれる歌唱は集まった約900人のファンを魅了しました。ライブは3部構成で進められ、第1部では、ピアノ、ベース、ドラム、フルートなどの4人のバンドが「ROMANTIC SALE」などのラテン音楽を軽快に、時には烈しいリズムで演奏、ヴォーカル・NORAがサンバの踊りに乗って、絶妙なハーモニーを披露しました。続いて、バンド「ソール・フレンズ」とポール・ジャクソンがジャズ演奏とパワフルな歌声で会場を響かせました。3部では、つのだ☆ひろと3人のコーラス隊が登場。ユニークなトーンを交えながら「般若心経」をアレンジした歌曲やヒットナンバー「メリー・ジェーン」を歌唱。最後は、NORA、ジャクソンらに加わり熱気に満ちたステージで、ジャズの神髄をパワフルに盛り上げ、フィナーレを飾りました。



多様な書風作品が並ぶ第32回若越書道展 - 県立美術館

創立70周年記念 若越書道会展  
公券や会員作品850点  
県立美術館

11/7~10

（社）若越書道会創立70周年を記念する第32回作品記念展（同会主催・当財団後援）が11月7日から10日までの4日間、福井市の県立美術館で開かれました。

会場には、一般公券の作品219点、会員の部640点が出品され、漢字、かな、調和体、近代詩文など多様な書風の作品が展示され、いづれの作品も記念展にふさわしい力作揃いで、鑑賞に訪れた書道ファンは書道独特の世界にじっくりと浸っていました。

9日には、優秀作品の表彰式が行われ、会員の部では、今年から最優秀作品に贈られる文部科学大臣奨励賞に中村秀峰さん（敦賀市）が輝き、一般公券の部では特選29点選ばれ、うち知事賞には敦賀市の山上順子さんの作品が受賞。また、「げんでんふれあい福井財団賞」には福井市の五十嵐芳秋さんの作品が選ばれ、財団山田専務理事から財団賞を贈りました。



新 財団シンボルマーク(原案)募集

当財団は、本年度で5周年を迎えることとなりました。この記念すべき節目に、さらなる事業の充実を願い、県民の皆さんから親しまれ、信頼される財団のイメージを象徴する「シンボルマーク」を公募することになりました。



財団法人 げんでんふれあい財団は福井県の美しい自然、郷土の歴史、人、生活などの地域資源を活用し、地域との交流を通して、芸術と文化の香り高いまちづくりやこれらを推進する人材の育成・交流等の事業を行う事により地域文化の振興を図るとともに、他の地域団体の活動と連携・支援することにより、ふれあいとゆとりのある地域社会の実現に寄与する事を目的としています。

応募資格

福井県に在住または学校・勤務先が福井県内である人(年齢は問いません。)

作品の規格

- (1) 台紙はA4版「シンボルマーク」カラーでデザイン、バックは白紙
(2) 応募作品は1人1点とします。
(3) 作品をデザインした簡単な解説を添付してください。裏面には、氏名・住所 職業(学校名)・年齢(学年)を明記してください。

賞金

- 最優秀賞 1点 賞金20万円
優 秀 賞 2点 賞金5万円(1点につき)
参加出品者 全員に記念品(図書カード)贈呈

締め切り 12月13日(金) 当日消印有効

応募及び問合せ先

〒914-0051 福井県敦賀市本町2丁目9-16 日本原電敦賀地区本部内

財団法人 げんでんふれあい福井財団
TEL(0770)21-0291 FAX(0770)21-9070
HPアドレス http://www.Genden.or.jp

財団ふれあい通信



第4回ふるさと大賞作品「落花の参道」 小林 則男氏(鯖江市)

テーマ 第5回

ふるさととの四季といとなみ

ふれあい大賞 写真コンテスト 作品募集

部 門 学生部門(高校生以上)
一般部門・一般女性部門の3部門

資 格 1) 福井県に在住又は学校・勤務先が福井県内であること
2) 写真の専門家(プロカメラマン)ではないこと

作品の規格 カラー・モノクロで四つ切り又は四つ切りワイドの単写真(学生は六つ切り可)

締め切り 12月13日(金) 当日消印有効

- ふるさと大賞 1点……30万円
ふるさと賞 3点 学生5万円1点/一般10万円1点/女性10万円1点
優秀賞 6点 学生3万円2点/一般5万円2点/女性5万円2点
入選 35点 <記念品> 学生5点/一般20点/女性10点
佳作 35点 <記念品> 学生5点/一般20点/女性10点

主催:(財)げんでんふれあい福井財団
後援:福井県/福井県教育委員会/敦賀市/敦賀市教育委員会
(社)福井県文化協議会/福井県高等学校文化連盟/福井新聞社
福井放送/福井テレビ/朝日ケーブルネットワーク
協賛:福井県カメラ商組合/富士写真フィルム(株)/(株)福井フジカラー

応募先 1) 〒914-0051 福井県敦賀市本町2-9-16
財 げんでんふれあい福井財団
2) 福井県カメラ商組合加盟店及び県内フジカラー取扱店

財団イベント INFORMATION

Table with 4 columns: Event Name, Location, Dates, and Venue. Includes '日英小学生絵画交流展' and '第5回ふるさと大賞 写真コンテスト入賞作品展'.

財団ホームページ アドレス http://www.Genden.or.jp